

ガマ入塚における新型コロナウイルス感染症への対応について (クラシンウジョウ塚・ヌヌマチガマ)

はじめに、ガマは沖縄の方言で「鍾乳洞」のことを指します。戦時中は人々を鉄の豪雨から守り、現在は平和学習の場として活用されていますが、もともとは天然の洞窟です。

当団体でご案内しているクラシンウジョウ塚・ヌヌマチガマも定期的に安全点検を行っておりますが、戦後から手つかずの、自然のままの状態です。塚内を人工的に換気することや消毒をすることは出来ません。そのため、適切な利用については入塚される皆様のご協力が不可欠です。

ガマのご利用にあたり事前に以下の事項を遵守していただけますようお願い致します。

ガマ入塚に際してのお願い

- ① ガマは手つかずのままの自然の洞窟です。狭く暗い空間であるという性質上、安全を確保するためにも、**ソーシャル・ディスタンスを保つことは難しいこと**を、事前にご理解いただくようお願い致します。

また、お手洗いはありますが、手洗い場に石鹼や消毒はありません。

そのため、**バスを降りてから乗るまで軍手の着用**をお願い致します。

軍手使用前後は、個々の携帯用消毒液をお持ちいただき、ご使用ください。

- ② **体調の悪い生徒様を無理にガマへ入塚させないでください。**

バスを降りる際には体調の確認と、「ガマという自然の洞窟に入ること」「汚れる可能性があること」を周知徹底していただくようお願い致します。特に発熱や咳、けん怠感などの体調不良の生徒様は入塚をお断りします。入塚の判断は先生に委ねますが、徹底してご対応していただくようお願い致します。

※ ガイドの注意にも関わらず、ルールやマナーが守れない生徒様がいる場合は、その場でプログラム中止の判断をさせていただきます。その場合、ガイド料の返金はありません。

- ③ **【マスクと軍手を着用】厳守をお願いいたします。**

従来から軍手とライトはご持参をお願いしておりましたが、マスクもご持参いただくようお願い致します。マスク・軍手を持参していない生徒・先生については、感染のリスクを減らすため、バス車内で待機していただきます。

※ ガイドも基本的にはマスクを着用させていただきますが、状況に応じて、マスクを外させていただきますことがあります。

- ④ バスの外に出ている間、**生徒同士の会話を極力させない**ようお願い致します。
- ⑤ ガマの外で行う講話（ガマと沖縄戦の説明）については、従来通り行いますが、**ガマの内部での説明は行いません**。ガマの内部では黙とうのみ実施し（予定）、ガマの内部で留まる時間を極力短くするように致します。
- ⑥ 熱中症予防のため、バス降車前には必ず**水分補給**をお願い致します。
- ⑦ **荒天時（強風を伴う雨・大雨）の場合は当団体の判断により催行中止**とさせていただきます。これまで行っていたバス車内での「ガマと沖縄戦の説明」は感染予防のため実施致しません。
※なお、雨天の状況により1クラスなど少人数の場合は、屋根付きの東屋で講話が可能な場合があります。
- ⑧ **マスク・軍手・靴等のゴミは必ずお持ち帰りください**。

○クラシンウジョウ壕について

出口が複数ある（使用していないものも含む）ため、風通しもよく、また壕内を一周して見学することが出来ます。

○ヌヌマチガマについて

ガマ内の風通しが悪く、奥まで進んだ後、来た道を折り返すため、より「密」な環境が起こりやすいです。また、壕内がぬかるんでおり、マスクが汚れる可能性が高いため予備のマスクをご持参ください。予約に空きがある場合は、ヌヌマチガマからクラシンウジョウ壕への振替えも可能です。

※当日の対応をよりスムーズに行うため、学校様でご用意されているガイドラインがございましたら事前にお送りください。

※2020年7月1日現在の情勢を考慮して作成したものです。今後の状況により内容を変更させていただく場合もありますので、予めご了承ください。

ご不明な点がございましたらお問い合わせください。

NPO 法人自然体験学校	電話：098-998-0330	FAX：098-998-3808
--------------	-----------------	------------------